

問1 日本海側の地域において、冬の降水（降雪）量が多くなるメカニズムを説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023

年 新潟県公立入試 類似)

1. 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。
2. 冬に南東から吹く季節風が、太平洋を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈を越えた後の日本海側で乾燥した空気を送る。
3. 赤道付近で発生した低気圧が日本海を北上し、暖かく湿った空気を山脈にぶつけることで大量の雪を降らせる。
4. 一年中吹く偏西風が、日本海流（黒潮）によって温められた水蒸気を直接運び込み、冬の山沿いに雨をもたらす。

問2 日本の地形において、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の3つの山脈を総称した呼び名として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2020年 愛媛公立入試 類似)

1. 日本アルプス
2. 奥羽山脈
3. 関東山地
4. 筑紫山地

問3 ある都市の気候統計において、年平均気温が15.1℃、年降水量が1895.7mmであり、月別の降水量を確認すると、12月、1月、2月の数値が他の月と比較して突出して多いという特徴が見られました。このような気候がみられる日本の都市として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 和歌山公立入試 類似)

1. 北海道東部の太平洋側に位置し、夏に濃霧が発生しやすい釧路市
2. 千葉県側の太平洋側に位置し、黒潮の影響で冬も温暖な銚子市
3. 鳥取県の日本海側に位置し、冬の季節風の影響を強く受ける境港市
4. 鹿児島県の南端に位置し、夏の降水量が非常に多い枕崎市

問4 ある統計資料において、都市Aは1月の平均気温がマイナス0.6度と低く、冬の降水量が非常に多いという特徴があります。一方で都市Bは、1月の降水量が38.2mm、7月が144.1mmと全体的に降水量が少ない数値を示しています。これらのデータから推測される都市Aと都市Bの組み合わせとして、正しいものを選んでください。 (2017年 福岡県公立入試 類似)

1. 都市A：東北地方の日本海側の都市、都市B：瀬戸内海に面した都市
2. 都市A：瀬戸内海に面した都市、都市B：東北地方の日本海側の都市
3. 都市A：太平洋に面した温暖な都市、都市B：中央高地に位置する都市
4. 都市A：中央高地に位置する都市、都市B：太平洋に面した温暖な都市

問5 無電柱化を推進する自治体の計画において、病院の周辺や交通量の多い国道を「最優先で整備すべき地域」とし、学校の周辺などを「それに次いで整備する地域」と区分することがあります。このように地域特性に応じて優先順位をつける理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 長野公立入試 類似)

1. 災害発生時に人命救助の拠点となる施設や、物流の幹線となる道路の通行を最優先で確保する必要があるため。
2. 交通量の多い地域ほど電線を地下に埋める工事費用が安く済み、短期間で事業を完了させることができるため。
3. 学校周辺よりも病院や国道沿いの方が、無電柱化による景観改善が観光客の増加に直結しやすいと考えられているため。
4. 交通規制の影響を最小限にするため、もともと交通量が多く電柱の数も少ない地域から着手するのが効率的だから。

問6 日本の多くの都市が位置する三角州という地形について、その成り立ちや自然災害に対する特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2026年 茨城公立入試 類似)

1. 河川の運搬作用により河口に土砂が堆積してできた地形で、地盤が脆弱なため地震の際に揺れや液状化の影響を受けやすい
2. 山地から流れ出た土砂が扇状に広がってできた地形で、地盤が強固なため大規模な建築物の建設に適している
3. 遠浅の海を堤防で囲い、内部の水を抜き取ることで人工的に作られた地形で、常に排水ポンプによる管理が必要である
4. 河川の浸食作用によって形成された階段状の地形で、標高が高いため津波や洪水の被害を全く受けない

問7 日本近海の海流の動きを整理した資料において、九州の西側から日本海へ入り込み、日本列島の北西側に沿って北上する海流があります。この海流は太平洋側を流れる大規模な暖流である黒潮から分かれたものですが、その名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 徳島公立入試 類似)

1. 対馬海流
2. リマン海流
3. 親潮（千島海流）
4. 黒潮（日本海流）

問8 自然災害が発生した際に、予測される被害の範囲や避難場所、避難経路を地図上に示したものを何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。 (2022年 愛知公立入試 類似)

1. ハザードマップ
2. 人口ピラミッド
3. 等高線資料
4. 土地利用図

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。	日本の冬は、シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風の影響を強く受けます。この季節風が比較的暖かい日本海の上を通過する際、大量の水蒸気を吸収します。水分を含んだ湿った空気が日本の背骨にあたる奥羽山脈や三国山脈などの高い山々にぶつかって上昇し、冷却されることで雪となって降ります。そのため、山脈の西側に位置する日本海側の地域では、冬の降水量が非常に多くなるという特徴があります。
問2	答え 1 日本アルプス	本州中央部の標高が高い地域を構成する飛騨・木曾・赤石の3つの山脈は、ヨーロッパのアルプス山脈にちなんで「日本アルプス」と名付けられました。これらは日本の地形の骨格をなす重要な山域です。選択肢にある奥羽山脈は東北地方、関東山地は関東地方、筑紫山地は九州地方に位置する山地です。
問3	答え 3 鳥取県の日本海側に位置し、冬の季節風の影響を強く受ける境港市	冬（12月～2月）の降水量が突出して多いのは、典型的な日本海側の気候の特徴です。太平洋側の銚子や枕崎は冬に乾燥して降水量が少なくなります。また、釧路は寒冷で年間降水量は少なめです。統計データにある「冬の降水量の多さ」から、日本海側に面した都市を特定することができます。
問4	答え 1 都市A：東北地方の日本海側の都市、都市B：瀬戸内海に面した都市	日本海側の気候は、冬に北西の季節風の影響で雪や雨が多くなるのが最大の特徴です。特に北部の都市では1月の平均気温が氷点下になることも珍しくありません。対して、1月・7月ともに降水量が少なく、年間を通して雨が少ないデータを示すのは瀬戸内の気候の特徴です。これにより、都市Aを日本海側、都市Bを瀬戸内と判断できます。
問5	答え 1 災害発生時に人命救助の拠点となる施設や、物流の幹線となる道路の通行を最優先で確保する必要があるため。	防災計画では、災害時の機能維持が特に求められる場所から優先的に対策が行われます。救急受け入れを行う病院や、支援物資を運ぶ大型車両が通る幹線道路が電柱倒壊で通行不能になると、被害が拡大する恐れがあるため、これらを結ぶルートが最優先の整備対象となります。
問6	答え 1 河川の運搬作用により河口に土砂が堆積してできた地形で、地盤が軟弱なため地震の際に揺れや液状化の影響を受けやすい	三角洲は河川が運んできた細かな土砂が、海などの静かな水域に到達して流速が落ちることで堆積し、形成されます。このようにしてできた土地は、水分を多く含んだ柔らかい層が厚いため地盤が弱く、地震時の揺れが増幅されたり液状化現象が発生したりしやすいという防災上の課題があります。また、海拔が低いいため、高潮や洪水による浸水リスクも高い地形です。
問7	答え 1 対馬海流	九州の南西側で黒潮（日本海流）から分かれ、対馬海峡を通過して日本海へと流れ込む暖流は対馬海流です。この海流は日本海沿岸を北上し、日本の気候に大きな影響を与えています。選択肢にあるリマン海流は日本海を南下する寒流であり、親潮は太平洋側を南下する寒流です。黒潮は分かれる前の太平洋側の本流を指します。
問8	答え 1 ハザードマップ	洪水、土砂崩れ、津波などの自然災害が起きた際、どこにどのような危険が及ぶかを予測し、住民が安全に避難できるように作成された地図です。自治体などが配布しており、日常生活の中で自分たちの住む地域の動向を把握するために重要な役割を果たします。

問1 日本の気候区分のうち、周囲を山地に囲まれた内陸部に位置し、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温差（年較差）や一日の気温差（日較差）が大きい特徴を持つ気候を何といますか。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. 中央高地の気候 2. 日本海側の気候 3. 太平洋側の気候 4. 瀬戸内の気候

問2 日本の中部地方から関東地方にかけて広がる地質構造であるフォッサマグナの特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。なお、この地形は日本列島を南北に分断するように位置しています。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 日本アルプスの東側に位置する、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積した巨大な溝状の地形。 2. 西日本を東西に貫き、九州から関東まで続く日本最大級の断層帯。 3. 太平洋プレートが陸のプレートの下に沈み込むことで形成された、水深6000メートルを超える深い溝。 4. ユーラシア大陸から吹き付ける季節風の影響を強く受ける、標高3000メートル級の山々が連なる山脈。

問3 日本各地の気候について、長野県長野市と沖縄県那覇市の統計を比較したとき、那覇市の気候の特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。なお、那覇市は一年を通して月平均気温が15度を上回り、長野市で見られるような冬の氷点下への落ち込みがありません。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 一年を通じて気温が高く、夏と冬の気温差を示す年較差が小さい。 2. 内陸部に位置するため夏と冬の寒暖差が激しく、年較差が大きい。 3. 季節風の影響により、冬の降水量が夏の降水量を大きく上回る。 4. 梅雨や台風の影響で夏に降水が集中し、冬の降水量はほぼゼロになる。

問4 河口付近の低地において、人口集中地区（DID）が形成されている場合の地理的リスクと都市構造の関係について述べた文章として、正しいものはどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 多くの人が居住する人口集中地区が浸水リスクの高い低地に位置しているため、災害が発生した際の人的・経済的被害が大きくなる懸念がある。 2. 人口集中地区は一般的に標高の高い安定した岩盤の上に形成されるため、河口付近であっても洪水対策を強化する必要はない。 3. 河口付近の平坦な土地は排水設備を整えやすいため、人口が集中していても浸水被害を完全に防ぐことが可能であり、災害リスクは無視できる。 4. 低地は地価が安いいため人口が密集することはなく、人口集中地区は例外なく内陸の山間部や扇状地の上部に形成される。

問5 山地から平地へと川が流れ出る場所に土砂が堆積してできた扇状地では、その土地の性質を反映した利用がなされています。扇状地の多くが、水田よりも果樹園や畑として利用されてきた理由を、堆積した土砂の性質に着目して説明したものを選びなさい。（2025年 大阪公立入試 類似）

1. 堆積した土砂が細かく固まっているため、根が深く張りやすいため 2. 土砂に肥料分が多く含まれており、果実の糖度を高めるから 3. 土砂の隙間が大きく水はけが良いため、水を溜めておくのが難しいから 4. 周囲の地形に比べて標高が低く、冷たい水が溜まりやすいから

問6 日本列島の周辺を流れる海流のうち、東北地方の沖合で千島海流（親潮）とぶつかって「潮目（潮境）」を形成し、豊かな漁場を作る要因となっている暖流はどれですか。（2025年 静岡公立入試 類似）

1. 対馬海流 2. リマン海流 3. 日本海流（黒潮） 4. 北大西洋海流

問7 自然災害が発生した際に、被害が及ぶと予想される区域や程度、さらには避難場所や避難経路などの情報を地図上にまとめたものを何といますか。（2020年 佐賀公立入試 類似）

1. ハザードマップ 2. 等高線地形図 3. 土地利用図 4. 都市計画図

問8 三重県の志摩半島や福井県の若狭湾周辺に見られる、かつての山地の谷が海に沈むことで形成された、複雑に入り組んだ海岸線の名称を何といますか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. リアス海岸 2. 砂州 3. 海岸段丘 4. 干拓地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中央高地の気候	中央高地は周囲を高い山々に囲まれているため、季節風が運んでくる湿った空気が入り込みにくく、年間を通じて降水量が少なくなるのが特徴です。また、海から離れた内陸に位置するため、比熱の小さい陸地の影響を強く受け、気温の変化が激しくなります。
問2	答え 1 日本アルプスの東側に位置する、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積した巨大な溝状の地形。	フォッサマグナは日本列島の中央部に位置する巨大な溝状の構造です。かつて海だったこの溝に、新しい時代の火山噴出物や土砂が厚く堆積して現在の地形が作られました。選択肢にある中央構造線は西日本を東西に走る断層であり、日本海溝は海底の地形、日本アルプスは険しい山脈を指すため、地質的な「溝」であるフォッサマグナの説明とは異なります。
問3	答え 1 一年を通じて気温が高く、夏と冬の気温差を示す年較差が小さい。	沖縄県などの南西諸島は低緯度に位置し、周囲を暖かい海に囲まれているため、一年を通じて温暖で気温の変化が穏やかです。そのため、最暖月と最寒月の差である「年較差」が、冬の冷え込みが厳しい長野県などの内陸部と比較して小さくなるのが特徴です。また、湿った空気の影響を受けやすく、年間を通じて一定の降水量が見られる点も、冬に乾燥する内陸部や太平洋側の気候とは異なります。
問4	答え 1 多くの人々が居住する人口集中地区が浸水リスクの高い低地に位置しているため、災害が発生した際の人的・経済的被害が大きくなる懸念がある。	日本の多くの都市は、交通の便や平坦な土地の利用しやすさから、河口付近の平野部を中心に発展してきました。その結果、本来は自然災害（浸水）のリスクが高い場所と、建物や人口が密集する「人口集中地区（DID）」が重なっているという状況が生じています。このような都市構造では、ひとたび洪水が発生すると被害が甚大になるため、ハザードマップの確認や避難体制の整備が極めて重要となります。
問5	答え 3 土砂の隙間が大きく水はけが良いため、水を溜めておくのが難しいから	扇状地などの堆積地形は、粒の大きい砂や礫が積もってできているため「水はけ」が非常に良いのが特徴です。水田を作るには地表に水を溜める必要がありますが、水がすぐに地下へ浸透してしまう扇状地では水田開発が困難でした。一方で、水はけの良さを好むブドウやモモなどの果樹栽培や畑作には適していたため、現在のような土地利用が広がりました。
問6	答え 3 日本海流（黒潮）	東北地方の三陸沖では、南からの暖流である黒潮（日本海流）と、北からの寒流である親潮（千島海流）がぶつかり合います。ここにはプランクトンが豊富に集まるため、世界的な好漁場となっています。
問7	答え 1 ハザードマップ	自然災害による被害を最小限に抑える「減災」を目的に作成される。浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの予測情報と、避難所などの防災情報を住民に周知するために、多くの自治体で作成・配布されている。
問8	答え 1 リアス海岸	起伏の多い山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、谷の部分に海水が入り込んで形成される地形です。近畿地方付近では志摩半島や若狭湾が代表的であり、他にも東北地方の三陸海岸南部などが有名です。

問1 北海道に位置する人口50万人以上の都市であり、都道府県から委譲された権限に基づいて独自の都市運営を行っている都市の名称として正しいものはどれですか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)

1. 旭川市 2. 函館市 3. 釧路市 4. 札幌市

問2 日本の河川の特徴について述べた文のうち、日本最長の河川である信濃川に関する記述として適切なものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)

1. 長野県から新潟県へと流れ、下流域には稲作が盛んな越後平野を形成している。 2. 関東平野を流れる日本で最も流域面積が広い河川であり、別名「坂東太郎」と呼ばれる。 3. 北海道の中央部を流れる日本で3番目に長い河川であり、かつては大きく蛇行していた。 4. 山梨県から静岡県へと流れ、日本三大急流の一つに数えられるほど流れが速い。

問3 三重県桑名市周辺の2万5千分の1地形図において、東名阪自動車道という高速道路や、学校、寺院を含む集落が描かれています。ある地点から撮影された景観写真には、手前に広がるビニールハウス群と、その奥を左右に横切る高架の高速道路が写っています。この写真の撮影場所を地形図から特定する際、地図記号や土地利用の観点から判断する方法として最も適切なものはどれですか。 (2025年 兵庫公立入試 類似)

1. 地形図上で「田」や「畑」の記号が広がる平地を探し、その視線の先に高速道路の記号が位置する地点を照合する。 2. 高速道路と鉄道の地図記号は同一であるため、駅の記号から一定の距離にある広葉樹林の記号が密集する場所を探す。 3. 地形図上の等高線が密集している急傾斜地を探し、山間部にある「桑」の地図記号と写真のビニールハウスを照合する。 4. 寺院の地図記号が並ぶ歴史的町並みの中心部を特定し、そこから最も近いインターチェンジの方向を撮影地点とする。

問4 ある地域の地形図において、二地点を結ぶ直線上の土地の様子を確認したところ、途中で河川が流れており、その先には緩やかな丘陵地が広がっていました。この土地の起伏を断面図で表した場合、どのような特徴を持つ図が最も適切か。 (2015年 千葉県公立入試 類似)

1. 標高が一旦下がり、その後は緩やかに上昇して再び下がる起伏 2. 標高が一定のまま変化せず、水平な直線が続く起伏 3. 出発点から終着点まで、一度も下がることなく急激に上昇し続ける起伏 4. 高い標高から始まり、一度も上がることなく低い場所へ一定の割合で下がり続ける起伏

問5 地形図上で「浸水予想地域」が網掛けで示されている地域において、避難場所へ向かう経路を検討しています。河川沿いを通る距離の長い経路よりも、河川から遠ざかりつつ、網掛けの範囲を最短距離で通り抜ける経路の方が避難の安全性が高いとされる理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 河川の増水による氾濫に巻き込まれる危険性を下げ、かつ危険な区域に滞在する時間を短くできるため 2. 河川の近くは地盤が緩く、地震による家屋倒壊に巻き込まれる可能性が非常に高いため 3. 浸水予想地域内は標高が低いため、最短距離で移動するよりも平坦な河川沿いを進むほうが体力の消耗を抑えられるため 4. 最短距離の経路であれば、避難途中で浸水が始まったとしても、水が引くのを待つ場所を確保しやすいため

問6 雨温図において、年間の降水量が千五百ミリメートルを下回り、月ごとの降水量の変化も年間を通じて緩やかであるという特徴を持つ都市として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 埼玉公立入試 類似)

1. 岐阜県にある高山市 2. 岡山県にある岡山市 3. 三重県にある津市 4. 高知県にある高知市

問7 河川の近くに住んでいる中学生が、地域の防災について話し合っています。大雨による浸水被害を想定した、日頃からの具体的な備えとして最も適切なものはどれか。 (2018年 佐賀公立入試 類似)

1. ハザードマップを活用して被害予測範囲や避難場所、避難経路を事前に確認し、非常食や飲料水を準備しておく。 2. 河川には高い堤防が整備されているため、浸水のリスクはないと考え、避難場所の確認よりも家財道具の保護を優先する。 3. 実際に災害が発生し、避難勧告などが出された後に、インターネットやテレビで初めて避難場所の所在地を検索する。 4. 避難場所は自治体が指定しているため、事前の確認は行わずに、災害時には近くにある最も大きな公共施設へ向かう。

問8 山地が海に沈む、あるいは海面が上昇することによって、山あいの谷に海水が入り込み、狭い湾と岬が鋸の歯のように複雑に入り組んだ形となった海岸地形を何というか、最も適切な名称を選びなさい。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)

1. リアス海岸 2. 海岸段丘 3. 砂州 4. 干拓地

答え合わせ・解説

問1	答え 4 札幌市	札幌市は北海道唯一の政令指定都市であり、人口要件である50万人を大きく上回る規模を有しています。この制度により、札幌市は都市計画などの分野で北海道（道）の判断を待たずに独自の決定を行うことができる権限を持っています。
問2	答え 1 長野県から新潟県へと流れ、下流域には稲作が盛んな越後平野を形成している。	信濃川は日本一の長さを誇る河川で、長野県と新潟県をまたいで流れます。その豊かな水量は下流の越後平野における大規模な米作りに貢献しています。流域面積が最大なのは利根川であり、信濃川は「長さ」において日本一であるという違いを正確に理解しておく必要があります。
問3	答え 1 地形図上で「田」や「畑」の記号が広がる平地を探し、その視線の先に高速道路の記号が位置する地点を照合する。	地形図の読解において、ビニールハウスが広がる景観は、地図記号では「田」や「畑」として示される土地利用と対応します。これに加えて、特徴的な構造物である高速道路（地形図では道路の太さや種類で判別可能）との位置関係や、写真に写る視界の方向（方位）を地形図上の記号配置と照らし合わせることで、撮影地点を正確に特定することができます。高速道路を鉄道と誤認しないことや、平坦な土地利用記号を読み取ることが重要です。
問4	答え 1 標高が一旦下がり、その後は緩やかに上昇して再び下がる起伏	河川が流れている場所は、周辺の土地と比較して標高が低くなるため、断面図上では下方向に凹んだ形になります。また、丘陵地は小高い山のような地形で、標高が緩やかに上昇した後に再び下降する凸型の起伏として描かれます。地形図の等高線から標高の変化を正しく読み取ることが重要です。
問5	答え 1 河川の増水による氾濫に巻き込まれる危険性を下げ、かつ危険な区域に滞在する時間を短くできるため	洪水時の避難では、水害の発生源である河川から速やかに離れることが鉄則です。河川沿いは堤防の決壊や越水のリスクが最も高いため、避難経路からは除外すべきです。また、ハザードマップ等で示される浸水予想地域の中にいること自体がリスクとなるため、その範囲の「外」へ出るまでの距離が短い経路を選ぶことで、被災する確率を最小限に抑えることができます。
問6	答え 2 岡山県にある岡山市	中国山地と四国山地に挟まれた瀬戸内の地域は、夏と冬の季節風がそれぞれの山地を越える際に水分を失うため、一年を通じて降水量が少なく晴天の日が多いことが特徴です。選択肢の中で岡山市はこの気候区に属します。一方、高山市は中央高地の気候、津市や高知市は太平洋側の気候に分類されます。
問7	答え 1 ハザードマップを活用して被害予測範囲や避難場所、避難経路を事前に確認し、非常食や飲料水を準備しておく。	自然災害による被害を最小限に抑えるためには、行政が配布しているハザードマップを確認し、自分の住む場所の危険度や安全な避難経路を把握しておくことが重要です。また、ライフラインの遮断を想定し、非常食や飲料水の備蓄といった家庭での自助努力も求められます。災害が起きてから避難場所を探したり、堤防があるからと過信したりすることは、適切な避難行動を妨げる原因となります。
問8	答え 1 リアス海岸	陸地の沈降や海面上昇によって、元々の起伏の激しい地形が海に浸かることで形成されます。この地形は海岸線が非常に長くなるのが特徴で、福井県の若狭湾や三重県の志摩半島、岩手県の三陸海岸南部などが代表的な例として挙げられます。波が静かになりやすいため、養殖業の適地としても知られています。

問1 海岸線が複雑に入り組んだリアス海岸が形成される主な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 鳥取公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 1. 山地が海に沈んだり海面が上昇したりして、谷に海水が入り込んだため | 2. 河川が運んできた土砂が河口付近に厚く堆積して、海岸線が海側へ進んだため | 3. 波の侵食作用によって海岸の崖が削られ、平坦な地形が形成されたため | 4. 地震などによる急激な土地の隆起によって、かつての海底が陸上になったため |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--|

問2 中央高地に位置する都市の統計において、年間の降水量が1000mm程度と非常に少なくなる理由として、地形の観点から説明した文として正しいものはどれですか。 (2016年 兵庫公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 周囲を高い山脈に囲まれており、海からの湿った空気が入り込みにくくなっているため。 | 2. 標高が高いために上昇気流が発生しにくく、雲が発達する前に風が吹き抜けてしまうため。 | 3. 平地が少なく地表面の温度が上がりにくいと、上昇気流に伴う雨雲が発生しないため。 | 4. 広大な盆地が広がっているため、海からの湿った風が届く前にすべて陸地で乾燥してしまうため。 |
|---|--|--|---|

問3 中国山地と四国山地の間に位置する瀬戸内海沿岸の地域では、年間を通じて降水量が少ないことが特徴です。このような気候が形成される地理的な背景を、季節風と地形の関係から説明したものととして最も適切なものはどれか。 (2019年 香川公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地で、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地でさえぎられ、水分を失った乾燥した風が流れ込むため。 | 2. 夏は中国山地を越えて北風が吹き込み、冬は四国山地を越えて南風が吹き込むことで、一年中高気圧に覆われやすくなるため。 | 3. 周囲の山地によって湿った季節風がすべて遮断される結果、瀬戸内海の上空で常に強い下降気流が発生し、雲が形成されなくなるため。 | 4. 日本海側と太平洋側の両方から吹き込む湿った季節風が、山地を越える際に同時に衝突し、瀬戸内海の上空で乾燥した性質に変化するため。 |
|---|--|--|--|

問4 高知県の土佐湾などの沿岸部で見られる、海岸から海に向かって続く水深が約200メートルまでのゆるやかで平坦な海底地形を何と呼びますか。 (2024年 和歌山公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 大陸棚 | 2. 海溝 | 3. 海盆 | 4. 海嶺 |
|--------|-------|-------|-------|

問5 起伏の激しい山地が沈水することによって形成された、海岸線が複雑に入り組んだ地形を何というか、最も適切な名称を選択してください。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-------|--------|--------|
| 1. リアス海岸 | 2. 砂丘 | 3. 干拓地 | 4. 三角州 |
|----------|-------|--------|--------|

問6 広島市の中心部を流れる太田川などの河口付近に見られる地形の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 静岡公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 河川が運んできた土砂が、流速の落ちる河口付近に堆積して平坦な土地が形成された。 | 2. 山地から平地に出る谷口付近において、砂利などが扇状に堆積して緩やかな傾斜地が形成された。 | 3. かつての海底や川底が地殻変動によって隆起し、周囲より一段高い平坦な面が形成された。 | 4. 風によって運ばれた砂が、海岸や乾燥地において積み重なり、丘のような地形が形成された。 |
|--|---|--|---|

問7 日本の気候区分のうち、冬に北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかすることで多くの雪を降らせるため、12月から2月にかけての降水量が他の月と比べて著しく多くなる特徴を持つものを何と呼びますか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 太平洋側の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 中央高地の気候 |
|------------|------------|-----------|------------|

問8 本州中央部の岐阜県、長野県、静岡県にまたがる飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の3つの山脈は、標高3,000m級の峻険な山々が連なっていることから、あるヨーロッパの山脈になぞらえて何と呼ばれていますか。 (2023年 岐阜公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 日本アルプス | 2. 日本ピレネー | 3. 日本アンデス | 4. 日本ヒマラヤ |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

問9 石川県の能登半島付近から和歌山県の紀伊半島南部にかけて、地形の断面図を作成したと想定します。この区間の地形の配置と標高の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 兵庫公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日本海側から標高が上がり、飛騨山脈などの険しい山岳地帯を越えた後、濃尾平野などの標高の低い地域を経て、再び紀伊山地の険しい山並みが現れる。 | 2. 日本海側から太平洋側まで、標高の変化がほとんどないならかな平野部が続いており、大規模な山脈は存在しない。 | 3. 能登半島付近が最も標高が高く、南下するにつれて標高が一定の割合で下がり続け、紀伊半島南端で海拔ゼロメートルに達する。 | 4. 近畿地方の中央部に広大な盆地が広がっているため、断面図の中央部分は標高がマイナスとなり、周囲を100メートル程度の低い丘陵が囲んでいる。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 山地が海に沈んだり海面が上昇したりして、谷に海水が入り込んだため	リアス海岸は「沈水海岸」の一種です。起伏の激しい山地が沈み込む、あるいは地球温暖化などによる海面上昇が起こることで、陸上の谷の部分に海水が深く入り込み、非常に複雑な屈曲を持つ海岸線が作られます。選択肢にある土砂の堆積は三角州などの要因であり、土地の隆起や海面の低下は離水海岸（海岸段丘など）の形成要因です。
問2	答え 1 周囲を高い山脈に囲まれており、海からの湿った空気が入り込みにくくなっているため。	中央高地は、飛騨・木曾・赤石山脈といった高い山々に囲まれています。海から吹いてくる湿った風は、これらの山を越える際に斜面で雨を降らせてしまうため、山を越えて盆地側へ吹き降りる際には乾燥した空気となります。この地形的要因により、内陸の盆地部では年間を通じて降水量が少なくなります。
問3	答え 1 夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地で、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地でさえぎられ、水分を失った乾燥した風が流れ込むため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内海周辺は北を中国山地、南を四国山地に囲まれています。夏に太平洋から吹く湿った季節風は四国山地で、冬に日本海から吹く湿った季節風は中国山地でそれぞれ遮られ、山を越える際に斜面で雨や雪を降らせます。その結果、山地を越えて瀬戸内海側に吹き下ろす風は乾燥した空気となるため、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多くなります。
問4	答え 1 大陸棚	水深が200メートル程度までの非常に浅く平坦な海底地形を大陸棚といいます。太陽の光が海底近くまで届くためプランクトンが発生しやすく、多くの魚が集まる好漁場となります。高知県の土佐湾や長崎県・福岡県の西側に広がる東シナ海などに広く分布しています。
問5	答え 1 リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで、入り江と岬が交互に並ぶ複雑な海岸線が形成されます。この地形はリアス海岸と呼ばれ、日本では東北地方の三陸海岸、三重県の志摩半島、福井県の若狭湾、そして九州北西部の長崎県などに多く見られます。もともと山であった場所が沈んだため、平地が少なく水深が急に深くなるという特徴があります。
問6	答え 1 河川が運んできた土砂が、流速の落ちる河口付近に堆積して平坦な土地が形成された。	河口付近に形成される三角州は、河川の運搬作用によって運ばれた土砂が堆積することで作られます。選択肢にある「谷口付近に形成される傾斜地」は扇状地を指し、三角州よりも土砂の粒が大きく、水はけが良いという違いがあります。広島市の中心部は、複数の河川に分かれた河口の三角州上に発展した代表的な都市です。
問7	答え 1 日本海側の気候	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風が暖流（対馬海流）の流れる日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の背骨にあたる奥羽山脈や越後山脈などにぶつかって上昇気流となることで、日本海側に大雪をもたらします。そのため、冬の降水量が他の季節に比べて非常に多くなるのが最大の特徴です。
問8	答え 1 日本アルプス	本州の中央部（中部地方）を南北に走る飛騨・木曾・赤石の3つの山脈を総称した呼び名です。明治時代にイギリス人技師のウィリアム・ガウランドが、その景観をヨーロッパのアルプス山脈になぞらえて命名し、後にイギリス人宣教師のウォルター・ウェストンが世界に紹介したことで定着しました。その険しさから「日本の屋根」とも称されます。
問9	答え 1 日本海側から標高が上がり、飛騨山脈などの険しい山岳地帯を越えた後、濃尾平野などの標高の低い地域を経て、再び紀伊山地の険しい山並みが現れる。	中部地方から近畿地方にかけての断面図を考えると、日本海側の能登半島から内陸部へ向かうにつれて標高が高くなり、飛騨山脈（北アルプス）などの「日本の屋根」と呼ばれる高峻な山々が存在します。その後、伊勢湾周辺に広がる濃尾平野などの低地を挟み、さらに南下すると紀伊半島を構成する険しい紀伊山地を通過するという、起伏の激しい地形的特徴を捉える必要があります。

問1 山地が沈水したり海面が上昇したりすることで形成された、鋸の歯 (のこぎりの歯) のように複雑に入り組んだ海岸線を何と呼びますか。 (2016年 岐阜公立入試 類似)

1. リアス海岸 2. 海岸段丘 3. 砂州 4. 三角州

問2 2011年に発生した東日本大震災において、地震による海底の急激な動きが海水を押し上げ、沿岸部に甚大な被害をもたらした現象を何と呼びますか。気象条件によって海面が上昇する現象とは区別される名称を選択してください。 (2021年 佐賀公立入試 類似)

1. 津波 2. 高潮 3. 洪水 4. 土石流

問3 長野県長野市と沖縄県那覇市の降水量と気温の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。那覇市の気温の変化を示す折れ線グラフは、長野市のもものと比較して平坦な形状をしています。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 那覇市はすべての月で降水量があり、気温の年較差が小さい。 2. 那覇市は冬に全く降水がなく、気温の年較差が非常に大きい。 3. 長野市は冬の気温が那覇市よりも高く、気温の年較差が小さい。 4. 長野市は一年中気温が一定であり、那覇市よりも年較差が小さい。

問4 長野盆地などの「中央高地の気候」や、中国山地と四国山地に挟まれた「瀬戸内の気候」に見られる共通の降水量の特徴について、地形と季節風の関係から説明したものと正しいものはどれですか。 (2017年 秋田県公立入試 類似)

1. 夏と冬の季節風がそれぞれ手前の山脈で遮られ、水分を落とした後の乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少ない 2. 広大な平野部が広がっているため、季節風が通り抜けやすく、上昇気流が発生しないことから年間を通じて降水量が少ない 3. 寒流の影響を強く受ける地域であり、海面からの水蒸気の供給が不足するため、年間を通じて降水量が少ない 4. 一年中安定した高気圧に覆われる地形であるため、季節風の影響をほとんど受けず、年間を通じて降水量が少ない

問5 日本の山地や地質の構造に関する説明のうち、フォッサマグナの特徴を正しく述べているものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 日本列島を東日本と西日本に分ける大きな溝状の地帯であり、その西縁は糸魚川・静岡構造線と呼ばれている。 2. 九州から関東地方にかけて日本列島を東西に貫く、世界最大級の断層である。 3. 太平洋のプレートが陸のプレートの下に沈み込むことで形成された、水深6,000メートルを超える深い溝のことである。 4. 飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の3つの山脈の総称であり、日本アルプスと呼ばれている。

問6 扇状地の土地利用について、扇の中央付近にあたる「扇中央 (せんおう)」では、河川の水が地下に潜り込んでしまう「伏流 (ふくりゅう)」という現象が起こります。この性質が人々の生活や農業に与えた影響を説明したものと正しいものはどれですか。 (2024年 徳島公立入試 類似)

1. 地表を流れる水が乏しいため、かつては集落や水田が作られなかった。 2. 地表に常に水が溢れているため、大規模な水田地帯が形成された。 3. 地下水が浅い場所を通るため、井戸を掘らなくても容易に水が得られた。 4. 水が全く存在しないため、現在でも人が住むことは不可能である。

問7 滋賀県彦根市の地形図において、彦根城跡から「南東」の方角にある佐和山を眺める場面を想定します。地図読解において、彦根城跡から佐和山への「展望」が期待できるかどうかを判断するための根拠として、正しい説明はどれか選びなさい。 (2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 彦根城跡と佐和山を結ぶ視線上に、それら二地点の標高よりも高い地点を通る等高線や尾根が存在しないこと。 2. 二地点間の距離を縮尺から計算し、実際の距離が5キロメートル以内であれば、地形に関わらず展望が可能と判断する。 3. 視点となる彦根城跡から見て、対象となる佐和山が「北」に近い方角にあり、逆光の影響を受けないこと。 4. 地形図上の等高線が、二地点の間で等間隔に並んでおり、土地利用が水田として描かれていること。

問8 日本の中部地方から関東地方にかけて広がる地質構造であるフォッサマグナの特徴について説明したものと、最も適切なものはどれですか。なお、この地形は日本列島を南北に分断するように位置しています。 (2026年 愛媛公立入試 類似)

1. 日本アルプスの東側に位置する、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積した巨大な溝状の地形。 2. 西日本を東西に貫き、九州から関東まで続く日本最大級の断層帯。 3. 太平洋プレートが陸のプレートの下に沈み込むことで形成された、水深6000メートルを超える深い溝。 4. ユーラシア大陸から吹き付ける季節風の影響を強く受ける、標高3000メートル級の山々が連なる山脈。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 リアス海岸	地殻変動による土地の沈降や、氷河期が終わった後の海面上昇によって、かつての起伏の激しい山地の谷の部分に海水が入り込むことで形成されます。福井県の若狭湾や三重県の志摩半島、東北地方の三陸海岸南部などが代表例として挙げられます。選択肢の「海岸段丘」は土地の隆起と侵食、「砂州」は砂の堆積によって作られる地形で、成り立ちが異なります。
問2	答え 1 津波	地震や海底火山の噴火といった地殻変動により、海底が垂直方向に動くことで、その上の海水が一気に持ち上げられて周囲に広がる現象を「津波」といいます。これに対し、台風などの低気圧や強風によって海面が吸い上げられたり吹き寄せられたりして上昇する現象は「高潮」と呼ばれ、発生のメカニズムが根本的に異なります。
問3	答え 1 那覇市はすべての月で降水量があり、気温の年較差が小さい。	那覇市の気候は、黒潮（暖流）の影響を強く受けるため、冬でも気温が下がりにくく、一年を通じて降水がもたらされます。折れ線グラフが平坦であることは、夏と冬の気温差（年較差）が小さいことを示しています。これに対し、長野県のような内陸部は、海から遠いため気温の変化を受けやすく、冬の気温が著しく下がることから、折れ線グラフの上下の幅（年較差）が那覇市よりも大きくなります。
問4	答え 1 夏と冬の季節風がそれぞれ手前の山脈で遮られ、水分を落とした後の乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少ない	中央高地や瀬戸内は、周囲を高い山脈や山地に囲まれています。夏は太平洋からの、冬は日本海からの湿った季節風が吹き込みますが、これらの地域に到達する前に周囲の山々で雨や雪を降らせてしまいます。その結果、山を越えてきた乾燥した空気が流れ込むため、他の地域に比べて年間の降水量が少なく、晴天の日が多くなります。これは日本の地形的要因が気候に与える代表的な例です。
問5	答え 1 日本列島を東日本と西日本に分ける大きな溝状の地帯であり、その西縁は糸魚川・静岡構造線と呼ばれている。	フォッサマグナは、単なる一本の線ではなく「帯（ゾーン）」としての広がりを持っており、その中に新しい地層が堆積しています。この地帯を境に、東日本と西日本では古い地層の分布や地質構造が大きく異なります。選択肢にある「九州から関東を東西に貫く断層」は中央構造線、「太平洋の深い溝」は日本海溝、および「3つの山脈の総称」は日本アルプスを指しており、それぞれフォッサマグナとは異なる地理的要素です。
問6	答え 1 地表を流れる水が乏しいため、かつては集落や水田が作られにくかった。	扇状地の中央部（扇央）は堆積した砂礫の層が厚いため、河川が地下を流れる「伏流」が起こり、地表で水を得ることが困難でした。そのため、古くからの集落は水が得やすい扇頂（山からの出口）や、伏流水が湧き出す扇端（扇の縁）に発達し、扇央部分は主に林や果樹園として利用されてきました。現代では上水道の整備により住宅地としても利用されています。
問7	答え 1 彦根城跡と佐和山を結ぶ視線上に、それら二地点の標高よりも高い地点を通る等高線や尾根が存在しないこと。	地形図上で「展望（見えるか見えないか）」を判断する際は、視点と対象物を結ぶ直線（視線）が、途中の地形によって遮られないかを確認します。具体的には、二地点を結ぶ直線上に、その視線よりも高い標高を示す等高線（山や尾根）がある場合、視界が遮られるため展望は不可となります。方位や距離、土地利用だけでは展望の可否を断定することはできません。
問8	答え 1 日本アルプスの東側に位置する、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積した巨大な溝状の地形。	フォッサマグナは日本列島の中央部に位置する巨大な溝状の構造です。かつて海だったこの溝に、新しい時代の火山噴出物や土砂が厚く堆積して現在の地形が作られました。選択肢にある中央構造線は西日本を東西に走る断層であり、日本海溝は海底の地形、日本アルプスは険しい山脈を指すため、地質的な「溝」であるフォッサマグナの説明とは異なります。